事業所通信No. 105

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel：03-3793-3012
Fax：03-5856-6700
E-mail：office@8curious.or.jp
https://www.facebook.com/8curious
編集担当：島田　宏

学生さんたちに（V-Conference）はちくりうすの魅力を紹介してきました

はちくりうすのマルクスです。

3月29日(日)学生団体のVarietas 主催　『V-Conference 2015 Spring～「障がい者と関わる仕事って？」』に参加させて頂きました！

福祉関係の大学からの学生さんや、色々な事業所の方々が多く参加されていました。

障がい者と関わる仕事に少しでも興味がある、やってみたい！
学生さんと交流が出来るイベントです。

そして、講師の方々の話も聞けました。先輩方々の障がい者の支援の仕方や経験　やアドバイス等をして下さいました。

事業所紹介ではハチクリウスのアピールも緊張しながらも出来ました。

Varietasのスタッフから「3分の事業所紹介お願いします」と言われて私が「3分だけなら出来る」と思いました。しかし、たった3分の事業所紹介だったのですが、お話している時、「3分って長～いな」と思いましたね 緊張しました。

そして、募集で新しい仲間が増えるといいですね　楽しみにしています！

障がい者が、豊かな生活ができるよう支援するのが、私達の仕事ですね。
楽しく、仕事を助け合いながら頑張りたいと思いました。

マルクス

映像ははちくりうすの facebook で観ることができます

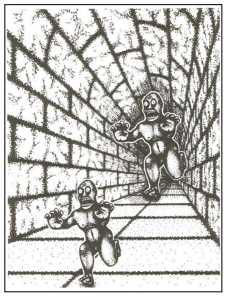
ガイドヘルパー募集中

COLUMN

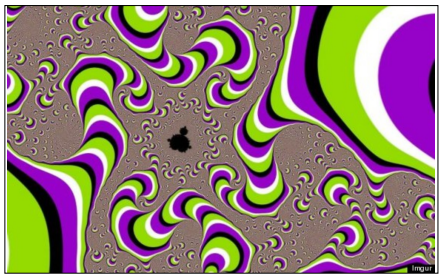
ほんとは何色？

ちょっと前に、人によって色が違って見えるドレスがネットで話題になったのをご存知ですか。私も見てみましたが、金白に見える人と、青黒に見える人がいるらしいです（私は金白派）。一度金白に見えると、青黒といわれても、やっぱり金白に見えてしまいます。これはトリックではなくて、錯視というらしいです。人の脳はふしぎなことに見えないものや、判断できないことを勝手に補正して脳が判別できるようにしてしまうそうです。脳が勝手にしてしまうので、違う色だと思い込もうとしてもやっぱり変りません。

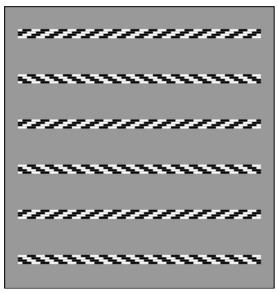
若い脳よりも、年寄りの脳のほうがより補正を強くするそうです。これはより効率的に判断するようにそうなっていくのだとか。ということは年を重ねるにつれて人が頑固になっていくのもわかるような気がします。これはいいことがある反面、間違った補正をしていても、本人にはわからないという厄介な面もあります。脳の世界では脳が都合よく判断できるように勝手に補正してしまうのです。世の中にはこんなことありますよね。どう言っても聞き入れてもらえないとか、えらくなればなるほどその傾向が強いようです。脳は目に見えるものだけを補正するわけではなく、きっと聞こえるもの、におい、感覚とかすべてものを補正して都合よく判断しているに違いないと思います。人の認識ほど曖昧で、不確実なものはないということでしょうか？。　　島田



「たすけてー」って、巨人と思ったら・・・

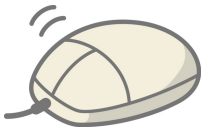


うー　目が回る



ほんとは平行

5月ヘルパー月例会



■テーマ：香港の学生たちとはちくりうすとの意見交換会
■日　時：5月12日(火)　9：00～12：00
■場　所：あいアイ館第一会議室（八雲1-1-8）
※　あとで出欠確認をしますのでよろしくお願いします！

社会の責任

昨年になりますが認知症の男性が電車と接触して死亡し、裁判所が妻の賠償責任を認める判決がありましたが、がんばって介護しているほど責任が重くなるという判決に、法律はどうあれ感情的にはかなり違和感がありました。一方、先日子供の起こした事故に対する親の賠償責任を限定する判決が最高裁から出されました。遺族の方にはお気の毒ですが、どうがんばっても避けられない事故というものはあるのではないでしょうか。もちろん責任を逃れることはできませんが、むしろ責任を回避するために、子供やお年寄り、障害者が家の中に閉じ込められてしまうことを危惧します。　　島田